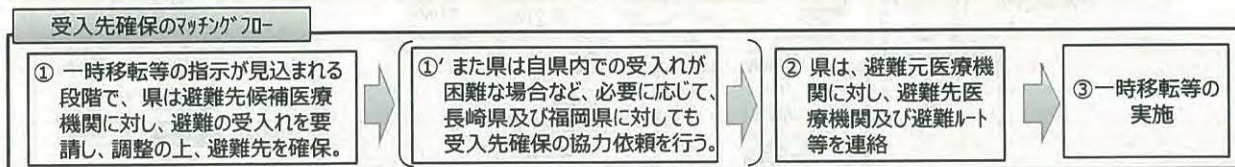
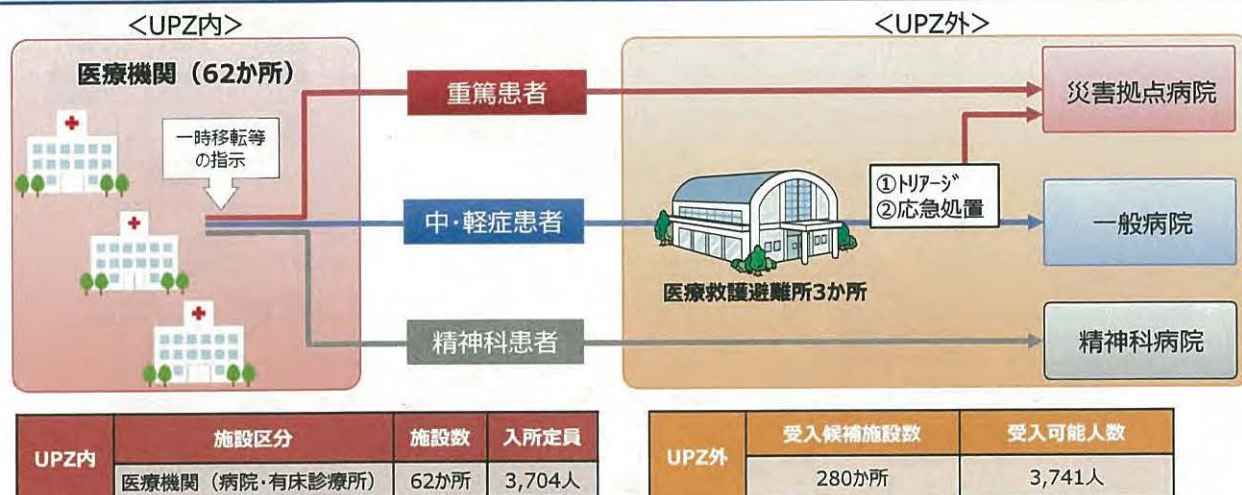


佐賀県における医療機関の受入先確保のための調整システム

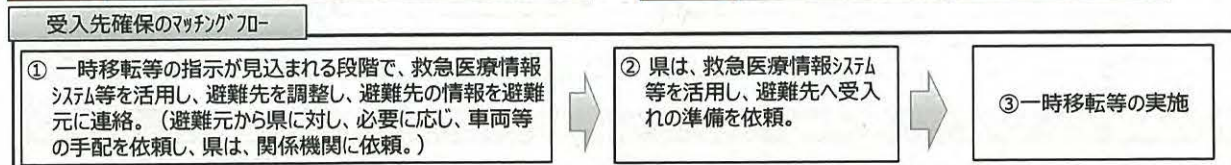
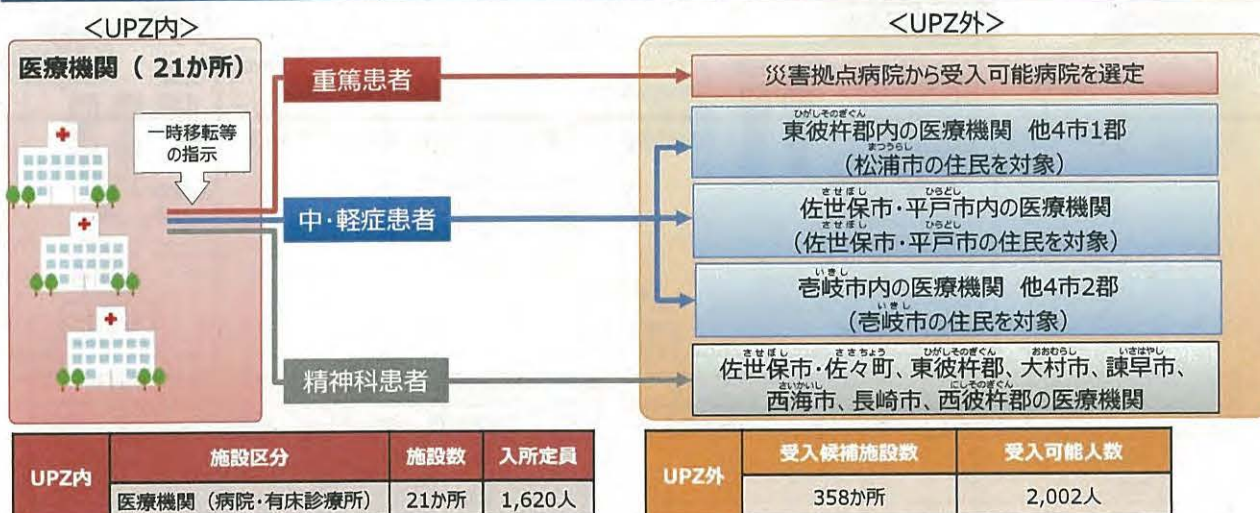
- 佐賀県では、UPZ内にある全ての医療機関(62施設3,704人)において、個別の避難計画を策定し、避難先を確保済み。
- 一時移転等の防護措置が必要になった場合、医療機関の避難計画に基づき、佐賀県が調整し、重篤患者は災害拠点病院へ、精神科患者は精神科病院へ、中・軽症患者は県が指定する医療救護避難所へ移動し、その後、受入れ先となる医療機関へ搬送。
- 受入先は、受入先確保のマッチングフローに基づき、佐賀県が県内の医療機関と調整して確保するほか、必要に応じて、長崎県・福岡県に受入先確保の協力を依頼し、各県の医療機関の中から受入先を確保。



63

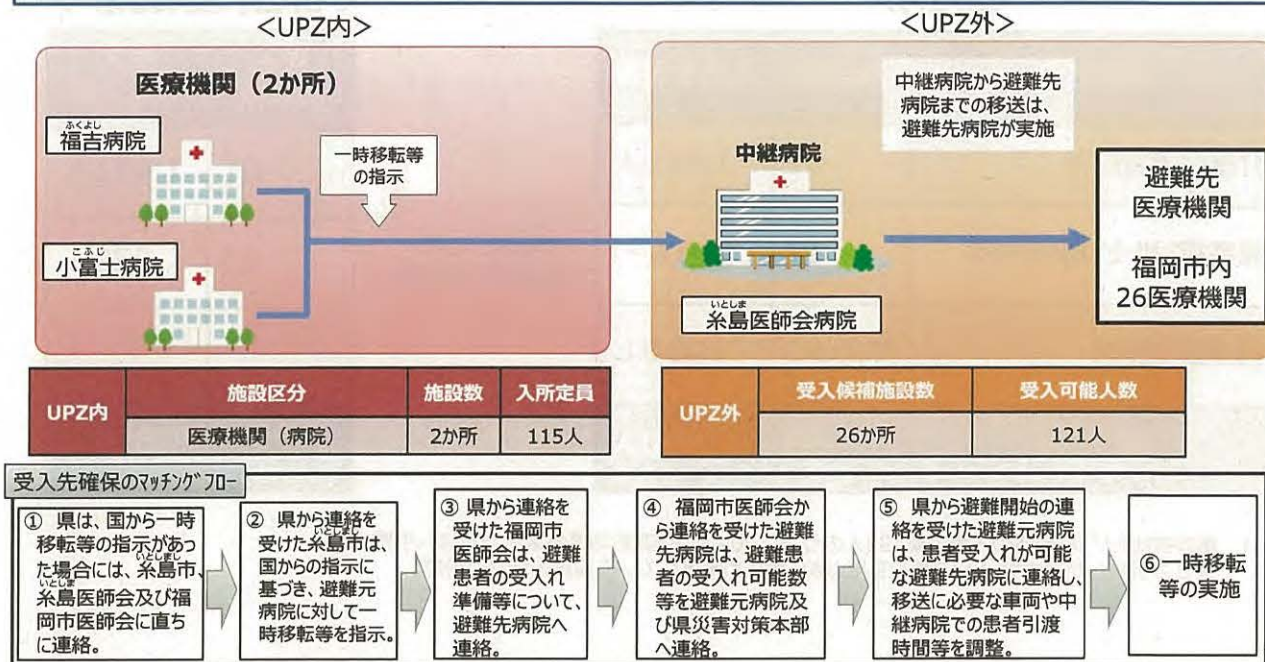
長崎県における医療機関の受入先確保のための調整システム

- 長崎県では、UPZ内にある全ての医療機関(21施設1,620人)において、個別の避難計画を策定し、避難先を確保済み。
- 一時移転等の防護措置が必要になった場合、医療機関の避難計画に基づき、長崎県が調整し、重篤患者の受入可能病院を選定するとともに、精神科患者及びそれ以外の入院患者については、あらかじめ選定された市町の医療機関の中から受入先を選定。
- 受入先は、受入先確保のマッチングフローに基づき、長崎県が県内の医療機関と調整して確保。



64

- 福岡県では、UPZ内にある全ての医療機関(2施設115人)において、個別の避難計画を作成し、避難先を確保済み。
- 一時移転等の防護措置が必要になった場合、医療機関の避難計画に基づき、中継病院を経由して避難先医療機関へ移送。
- 何らかの事情で、あらかじめ選定した避難先医療機関が使用できない場合等には、福岡県が受入れ先を調整。



65

佐賀県のUPZ内の社会福祉施設等の避難先

- 佐賀県では、UPZ内にある全ての社会福祉施設等(211施設4,985人)については、施設ごとの避難計画を作成しており、施設ごとにあらかじめ避難先施設を確保済み。
- 何らかの事情で、あらかじめ確保している避難先施設が使用できない場合等には、佐賀県が受入れ先を調整。

<UPZ内>			<UPZ外 (県内17市町) >	
施設区分	施設数	入所定員	受入施設数	受入可能人数
介護保険施設等	183	4,539人	228	4,539人
障害福祉サービス事業所等	26	377人	17	377人
児童養護施設	2	69人	2	69人
合 計	211	4,985人	247	4,985人

施設ごとの避難先を確保

長崎県のUPZ内の社会福祉施設等の避難先

- 長崎県では、UPZ内にある全ての社会福祉施設等(68施設1,690人)については、施設ごとの避難計画を作成しており、施設ごとにあらかじめ避難先施設を確保済み。
- 何らかの事情で、あらかじめ確保している避難先施設が使用できない場合には、長崎県が受入れ先を調整。

<UPZ内>

施設区分	施設数	入所定員等
介護保険施設等	51	1,461人
障害福祉サービス事業所等	17	229人※1
児童養護施設	該当なし	該当なし
合 計	68	1,690人

施設ごとの
避難先を確保

<UPZ外(県内8市町)>

受入 施設数	受入 可能人数
61	1,461人
13	229人
—	—
74	1,690人

※1 障害福祉サービス事業所の入所定員433人のうち、204人は施設敷地緊急事態で家族へ引渡し。残りの引渡しができない入居者229人はあらかじめ確保している避難先施設に避難。

67

福岡県のUPZ内の社会福祉施設等の避難先

- 福岡県では、UPZ内にある全ての社会福祉施設等(6施設387人)については、施設ごとの避難計画を作成し、施設ごとにあらかじめ避難先施設を確保済み。
- 何らかの事情で、あらかじめ確保している避難先施設が使用できない場合には、福岡県が受入れ先を調整。

<UPZ内>

施設区分	施設数	入所定員
介護保険施設等	5	327人
障害福祉サービス事業所等	1	60人
児童養護施設	該当なし	該当なし
合 計	6	387人

施設ごとの
避難先を確保

<UPZ外(県内10市町)>

受入 施設数	受入 可能人数
25	393人
12	78人
—	—
37	471人

68